

じんけん啓発推進員だより

発行：尼崎市人権啓発推進員事務局

尼崎市東七松町1-23-1 公益社団法人尼崎人権啓発協会内

TEL 06-6489-6815 / Fax 06-6489-6818 / E-mail : hcg22505@bcc.bai.ne.jp

人権啓発推進員とは・・・

市民一人ひとりの人権が真に尊重される社会の実現に向けて、地域における市民主体の人権啓発活動を推進するために、尼崎市では平成17年7月から尼崎市人権啓発推進員が設置されました。



人権啓発推進員は、尼崎市内各地区の社会福祉協議会及び地区民生児童委員協議会や各地区で活動されている団体から推薦を受け、2年任期で地域における啓発活動を展開しています。

主な活動内容は、地域でのあらゆる場と機会において、人権が尊重されるコミュニティづくりに向けた地域での活動や人権啓発に係る事業などに参加するとともに、14年間お世話になった中川喜代子先生に代わって今年度から人権啓発推進企画員の中尾由喜雄先生がコーディネートする人権啓発推進員会議と研修会にも参加しています。



人権啓発推進企画員の
中尾由喜雄先生

尚、平成30年度から公益社団法人尼崎人権啓発協会がこの業務を尼崎市から受託し、事務局として実施しています。

園田地区	武庫地区	立花地区	大庄地区	小田地区	中央地区	第8期人権啓発推進員さんの紹介
岩崎 重信さん 濱崎 雅子さん	古田 一夫さん 中本 昌次さん 辰己 美さん つは 美さん	中澤 健次さん 高橋 進さん 菅原 寿美さん 南本 久子さん 中谷 加代子さん	横田 富士子さん 小寺 美佐緒さん 西垣 文雄さん	山本 喜作さん 福井 隆さん 細見 義博さん	矢代 三郎さん 谷 佳子さん	

活動報告

4月から9月の人権啓発推進員会議および研修会①

4/11 第8期人権啓発推進員委嘱式、第1回推進員会議

テーマ：「第8期尼崎市人権啓発推進員との交流会」

場 所：尼崎市立中央北生涯学習プラザ

まず、第8期人権啓発推進員の委嘱式があり、塚本総合政策局長から推進員一人ひとりに委嘱状が手渡たされ、その後あいさつがありました。

続いて、第1回推進員会議として、新・人権啓発推進企画員の中尾由喜雄さんから自己紹介があり、次に、前・人権啓発推進企画員の中川喜代子さんから、人権啓発推進事業の経緯やフランスでの隣人まつり、子どもの虐待等についてのお話などがありました。その後、推進員の自己紹介があり、意見交換を行いました。



4/25 第1回研修会

テーマ：「人権文化豊かなまちづくりに向けて」

～阪神・淡路大震災が教えたもの～

場 所：尼崎市立中央北生涯学習プラザ

講師の中尾由喜雄さんからまずプロフィールを紹介された後、芦屋市役所の上宮川文化センターで所長として勤務していた2011年の阪神・淡路大震災の経験から、避難所としての取り組みや、地区住民と地区外の市民との交流についてのお話がありました。芦屋市は、死者443人、倒壊家屋17100世帯と被害率が最も高かったのですが、同和対策事業によって住宅整備が完了したばかりで、地区内の被害はほとんどなく、周辺地区の被害は目を覆うほどの惨状であったこと、避難者の約半数が地区外住民であったため、差別事件やトラブルが心配されたが、トラブルはなかったこと、地区住民が炊き出しや自然発生的に世話活動をしていった姿などの紹介がありました。

その後の意見交換では、実際に現地でのボランティア活動に参加していた推進員もあり、その時の経験談や、他の推進員からは、その時を思い出して涙がでるとの意見がありました。

5/16 第2回研修会

テーマ：「人権文化豊かなまちづくりに向けて II」

～阪神・淡路大震災が教えたもの～

場 所：尼崎市立地域総合センター南武庫之荘

講師の中尾由喜雄さんから前回の研修会で話された振り返りと、続きのお話をいただきました。

2011年の阪神・淡路大震災の経験から、避難所としての取り組みや、地区住民と地区外の市民との交流についての話がありました。また、地区のおばちゃん達の炊き出しや自然発生的な世話活動から、地区に対する偏見が解消されていったことなどの紹介がありました。



4月から9月の人権啓発推進員会議および研修会②

6/6 第2回会議

テーマ：「東日本大震災が教えたもの」

場 所：尼崎市立地域総合センター今北

DVDの上映

- ①東日本大震災ドキュメント（東北放送）
- ②「全隣協きずなキャラバン」（全国隣保館連絡協議会）

講師の中尾由喜雄さんから、東日本大震災の後、全国隣保館連絡協議会が中心になって、「全隣協きずなキャラバン」に行った経緯等のお話がありました。

その後、参加者一人ずつ、東日本大震災が起こった時の状況等を聞いていきました。参加者からは、尼崎でも揺れを感じ、その後、テレビの報道を見て、津波などの映像から大変な災害が起きたことに驚愕したとの意見があり、また、今なお解決していない原子力発電所の崩壊についても脅威を感じたことなどの意見がありました。

6/27 第3回研修会

テーマ：「東日本大震災と原発事故」

場 所：尼崎市立地域総合センター水堂

- ・DVD「希望の国」の鑑賞

東日本大震災時に起きた原発事故を取り上げたDVDを鑑賞しました。120分のDVDだったので、鑑賞後、参加者に意見を聞く時間がなく、中尾先生から、皆さんが感じたことを持ち帰ってもらいたいとのまとめの言葉があり終了しました。



7/25 第4回研修会

テーマ：「障害者差別解消法を考える」

場 所：尼崎市立地域総合センター上ノ島

DVD「ぼくはうみをみたくなりました」の鑑賞と意見交換
重度の自閉症の障がい者を通して、障がい者問題を考える
DVDを鑑賞後、参加者一人ひとりに感想や意見を聞いていきました。

推進員からの意見の中で、地域で障がい者と出会ったら、あいさつをするよう心掛けているが、今日の映画を観て、接し方を考えていきたい。また、身近な問題として考えていきたい。社会の中でまだまだ障がい者に対して避けたいの思いや、排除する考えがあり、自分自身にもあったが、こうして学んだことを地域で生かしていきたいなどの意見がありました。



4月から9月の人権啓発推進員会議および研修会③

8/8 第5回研修会



テーマ：「人権三法と地域社会」

場 所：尼崎市立地域総合センター今北

外部講師として、龍谷大学の金尚均教授をお招きし、「人権三法と地域社会」をテーマに講演いただきました。

その後、企画員の中尾由喜雄さんの進行で、推進員から感想や意見を聞きました。

金教授からは、2016年に施行した「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」という「人権三法」ができた背景や、各法律の意義などの説明があり、日本でのヘイトスピーチやインターネットでの被差別部落の地名の書込み等の現状の話があり、「人権三法」の意義をわかりやすくお話いただきました。また、意見交換の中で、地域の方が何か困ったことがある時に、その問題解決のための相談窓口がわからないということがあるので、地域での社協や民生児童委員の活動をしている推進員

の存在や役割をPRしていくことが大事であると共に、隣保館等と連携したネットワークが大事であるとの意見がありました。

9/26 第6回研修会

テーマ：「隣保事業（セツルメント事業）の歴史から部落問題を考える①」

講師の中尾さんから部落問題の歴史の説明があり、江戸時代の身分制度や生活、明治に入り、明治4年の「解放令」、また現在の部落差別に大きく関わりのあった壬申戸籍などのお話がありました。

続いて、尼崎では地域総合センターという名称の隣保館と隣保事業の歴史的経緯のお話があり、最後に参加者からの質疑応答を行い終了しました。



編集後記

人権啓発推進員ができて15年目になります。新たに推進員になられた方には、様々な人権問題について学習し、地域の活動に活かしていただければと思います。

事務局